

木質チップ敷設による雑草抑制効果の化学的検証

13108036 大庭一磨

13108069 小花智恵子

背景

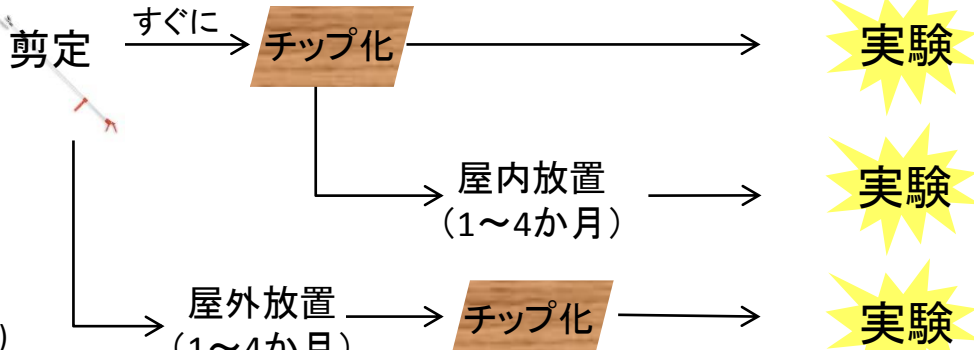
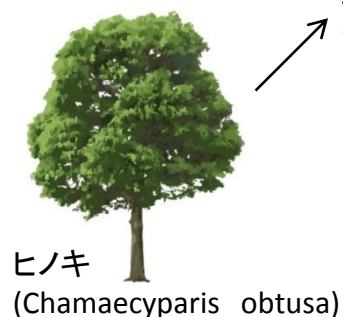
木質廃棄物(間伐材・剪定枝)をチップ化して敷設することで雑草抑制効果が確認されている。
しかし化学的要因は解明されていない

目的

木質チップが雑草抑制に与える化学的要因の解明

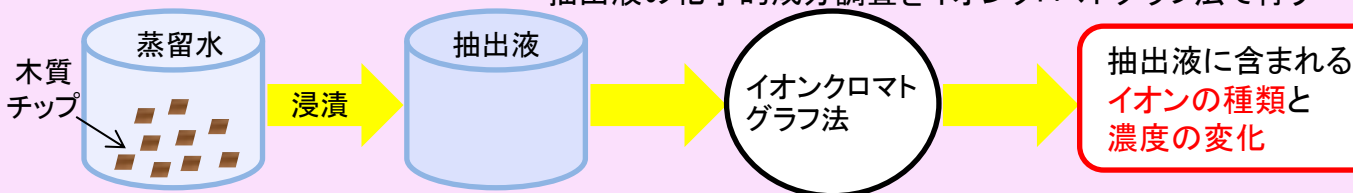


用意するチップ



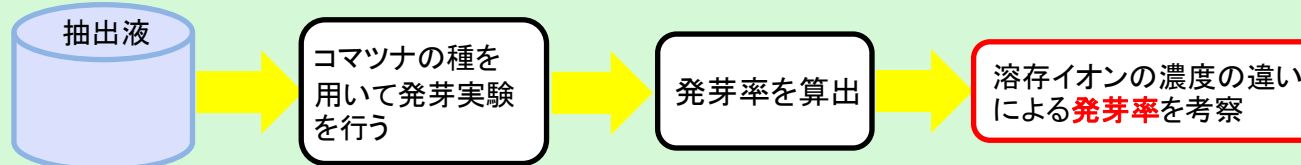
抽出液中のイオン成分分析

- ・用意したチップをそれぞれ蒸留水に浸漬し、抽出液を得る
- ・抽出液の化学的成分調査をイオンクロマトグラフ法で行う



抽出液を用いた種子の発芽抑制実験

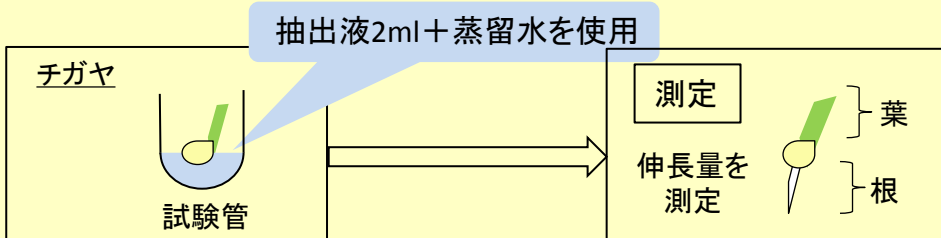
材料: コマツナの種類、抽出液
 $\text{発芽率(\%)} = (\text{発芽した種子粒数} / \text{播種した種子粒数}) \times 100$



生育試験

対象: チガヤ (*Imperata cylindrica* var. *koenigii*)

材料
発芽し、幼葉鞘2mmのチガヤ
方法
抽出液2ml含む培地上で培養
条件
25℃の光条件下



今後について

上記の実験を行い、
チップに含まれるイオンが雑草抑制に与える影響を考察

6月	7月	8月	9月	10月	11月・12月
剪定					
チップ化	チップ化	チップ化	チップ化	チップ化	イオン成分分析
抽出液採取	抽出液採取	抽出液採取	抽出液採取	抽出液採取	発芽抑制実験
【放置0か月】	【放置1か月】	【放置2か月】	【放置3か月】	【放置4か月】	生育試験